

# 【静岡福祉文化を考える会】2023年度事業計画

## 活動テーマ：世代や領域を超えた、つながる“ご近所福祉”を描く

28年目の活動に入る本会の活動の原点は、「日本福祉文化学会」から、静岡県内で「第11回福祉文化現場セミナー」開催の要請を受け、阪神淡路大震災発生から1年後（1996年3月）、「静岡発・みんなで語ろう福祉文化を21世紀の礎に」を課題に「人間らしい豊かさをめざして、いま文化としての福祉を語る」をテーマに、全国各地から400名余の参加者と熱く語り合った思いを形にしようと、「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」に取り組む「市民活動団体」として1996年9月に結成した。

この27年間、結成（1996年9月）して「地方発福祉文化の創造」の市民活動団体として、「専門性と市民性の融合の関わり」、「公開型地域総合型学習による理論と実践」、「課題解決に向けた、福祉文化のプロセス重視」の「3つの活動基調」を掲げて、活動に取り組んできた。

さらに、「第1の柱立て：啓発学習事業」（静岡発（地方発）福祉文化の創造）をめざして、県内各地の「地域総合型啓発学習」に学ぶ、「第2の柱立て：調査研究事業」（県民の協力により、一貫して、その時代の地域社会問題をテーマに調査研究活動に取り組み、その結果をその都度県民とともに「地域総合型学習」により課題解決に向けた議論を深める）、「第3の柱立て：実践地区活動事業」（広く県内各地の実践事例を共有し合い、「地域診断」のもとに、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開し、「協働」による福祉問題解決のプロセスの重要性を確認する）の「3つの柱立て」をもとに、各年度の地域課題をテーマに、27年間活動を展開してきた。

この27年間で「地方発（静岡発）福祉文化の創造」をもとに、福祉文化実践活動から考察すると、1996年度～2001年度の6年間は、地域社会の課題をもとに「結婚」、「共働き」、「地域」、「家族」、「父親」、「ボランティア活動」等を議論し合った『草創期』といえる。

次に、2002年度～2007年度の6年間は、日本福祉文化学会全国大会静岡大会開催実現を果たし、県内外の関係団体等との関係づくりをもとに、「働く人の暮らし」、「生活圏域の検証」、「子どもを育む地域環境」、「団塊の世代」等を議論し合った『協働期』、そして、2008年度～2014年度の7年間は、静岡県委託事業「一人でも安心して暮ら合う地域づくり事業」をもとに、高齢者等が地域で暮らし合えるための取り組みをした『実践融合期』、2015年度～2019年度の5年間は、「生活圏域の地域づくり」、「ご近所の助け合い」、「地域ぐるみの居場所」、「子どもを育む地域」、「地域ぐるみの支え合いの仕組み検証」をもとに取り組んだ『共創社会実現期』。こうしたプロセスから、2020年度に入り、「ご近所福祉の復活」、「地域を家庭化する支え合いの検証」そして、「高齢者からの提言」に取り組んでいる『ご近所福祉検証期』とつないでいる。

「わかる化」、「見える化」、「見せる化」をもとに、地域福祉教育教材の開発として「若者発 ご近所福祉かるた」を誕生させて、更には増刷と「かるた利用の手引き」の発行にこぎつけて、8年間福祉文化実践活動に取り組んできた本会は、2023年度はこれまで浮き彫りにしてきた課題提起をもとに、『ご近所福祉検証期』として、「世代や領域を超えた、つながる“ご近所福祉”を描く」を活動テーマに、協働による地域課題改善に向けた「地域づくりの開拓」に努める。

### 1. 2023年度全体会（総会&第1回公開型研修会）の開催

- 日時:2023年04月22日（土）13:30～15:30
- 会場:静岡市清水区追分3-5-17「寄ってっ亭」
- 内容:研修テーマ;「静岡発 福祉文化の創造とは～福祉文化の原点を探る～」
  - (1) 基調報告①「地域活動の原点を問う」
  - (2) 円卓トーク「私のご近所を点検する」

### 2. 委員会の開催

- \* 実務型委員会構成を基に、[代表],[副代表],[事務局長・次長],[会計],[監事],[委員]が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。
- \* 原則、「公開型研修会」開催の前段に開催。
- \* 広く会員や一般社会人にも参加を呼掛け、「公開型研修会」として位置付ける。
- \* 必要に応じ、臨時の委員会を開催。
- \* 2023年度の委員会開催は、以下の通りとする。

- 第1 (217) 回: 2023年04月22日(土) 10:30～ @静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
- 第2 (218) 回: 2023年09月30日(土) 10:30～ @静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
- 第3 (219) 回: 2024年02月17日(土) 10:30～ @静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
- 第4 (220) 回: 2024年03月30日(土) 10:30～ @静岡市清水区追分「寄ってっ亭」

### 3. 研修・討議活動

#### (1) 公開型研修会の開催

「定例委員会」をこれに充て、会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。一般社会人にも呼びかける。

##### ■ 第1回

- 日時:2023年04月22日(土) 13:30～15:30
- 会場:静岡市清水区追分 3-5-17「寄ってっ亭」
- 内容:研修テーマ;「静岡発 福祉文化の創造とは～福祉文化の原点を探る～」
  - ① 基調報告①「地域活動の原点を問う」
  - ② 円卓トーク「私のご近所を点検する」

##### ■ 第2回

- 日時:2024年02月17日(土) 13:30～15:30
- 会場:静岡市清水区追分 3-5-17「寄ってっ亭」
- 内容:研修テーマ;「世代や領域を超えた、つながる“ご近所福祉”を描く」
  - ① 基調報告①  
「私にとってご近所とは～身近な地域への提言～調査から見えたものは何か」
  - ② 円卓トーク「世代を超えて支え合うご近所」

#### (2) 「第22回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

- 日時:2023年09月30日(土) 13:30～15:30
- 会場:静岡市清水区追分 3-5-17「寄ってっ亭」
- 内容:研修テーマ;「教育と福祉の融合と“福祉文化”」
  - ① 基調報告①「福祉文化22年間の道程の中で」
  - ② 円卓トーク「地域の教育力UPのために」

### 4. 調査研究活動

#### (1) テーマ:『私にとってご近所とは～支え合う身近な地域への提言～』(仮称)の実施

##### (a) ねらい

「静岡福祉文化を考える会」は、この25年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組んでいる。また、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると、

- 1997年度 1. 「共働きに関する調査」
- 1998年度 2. 「私たちにとって、地域とは何かーその1ー意識と実態調査」
- 1999年度 3. 「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 2000年度 4. 「父親に関する調査」
- 2001年度 5. 「ボランティア活動実践者意識調査」
- 2002年度 6. 「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 2003年度 7. 「青少年の生きがいに関する調査」
- 2004年度 8. 「地域とは何かーその2ー意識と実態調査」
- 2005年度 9. 「子どもと社会環境に関する調査」(継続調査)
- 2006年度 10. 「子どもと社会環境に関する調査」(総括)
- 2007年度 11. 「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」

- 2008 年度 12. 「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」(静岡県共同募金会助成事業)
- 13. 「日常生活と福祉情報に関する意識調査」(静岡県委託事業)
- 2009 年度 14. 「長寿社会に関する県民意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2010 年度 15. 「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとは何か本音に迫る調査」(静岡県委託事業)
- 2011 年度 16. 「地域と私の居場所その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2012 年度 17. 「家族ってなにその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2013 年度 18. 「長寿者につながるホッとすご近所づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2014 年度 19. 「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2015 年度 20. 「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 2016 年度 21. 「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 2017 年度 22. 「居場所ってなにその意識と実態調査」
- 2018 年度 23. 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(単純集計)
- 2019 年度 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 24. 「256 名の子どもたちに聞きました。ホッとする地域ですか?」(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 2020 年度 25. 「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 2021 年度 26. 「福祉ってなに? 256 名の子どもたちに聞きました。ホッとする地域ですか」(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 2022 年度 27. 「ホッとする、安心した地域づくりその意識と実態調査」

と、「27 のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。通算 28 回目となる今年度は、活動テーマ:「世代を超えた、つながる“ご近所福祉”を描く」に基づき、中学生(中学 3 年生)を対象に、「私にとってご近所とは～支え合う身近な地域への提言～」(仮称)に取り組む。

(b) 調査項目

①基本属性、②生活状況、③家庭・家族に関すること、④地域社会での実体験に関すること、⑤地域の福祉課題に関すること、⑥福祉社会への期待、⑦自由意見(提言)の 7 項目とする。詳細は「調査部会」を別に設けて具体化。

(c) 調査の展開

①調査実施期間(7 月～8 月)、②入力期間(9 月～10 月)、③分析&考察(10 月～11 月)、④公表(2 月)を予定。

(d) 対 象 静岡県内の中学校 3 年生

(e) 回収目標 200 名程度

(f) 調査依頼/配布方法 会員、地域実践者、関係団体、施設に依頼

(2) 「ご近所福祉研究会」(調査部会を兼ねる)の設置と運営

① 設置目的

「活動テーマ」をもとに、本会委員会と並行して、任意の「研究会(調査部会)」を設置し、地域活動から地域福祉について、広く意見を求め、具体的な課題(調査)を基に、これからの地域づくりへの提言をまとめる。併せて、「若者発 ご近所福祉かるた」の活用事例集の作成を検討。

② 広報啓発

議論した内容を、本会機関紙に掲載するとともに、本会の活動の提言としてまとめる。また、活動状況をマスコミ等へ情報提供し、広く県民に広報啓発する。

(3) 「若者発 ご近所福祉かるた」有効活用状況の把握

これまで、200 セット配布した団体・グループ等(学校、地域実践領域、学童保育、社会教育、さわやかクラブ、コミュニティ実践団体等)からの「活用レポート」を世代別・領域別に整理するとともに、現地訪問等から得た検証事項をまとめ、「ご近所福祉の再構築」のさらなる推進に努める。

## 5. 広報・啓発活動

### (1) 「機関紙発行計画」に基づく『Our Life』の発行

- \* 年4回、A4版、4ページ構成、上質紙印刷、200部発行
- \* 「地方発福祉文化の創造」論議や実践活動を会員及び関係方面に具体駅に情報発信。
- \* 各号共通記事:「編集後記」、「ご近所福祉コーナー」、「事務局日誌拝見」
  - 第146号(05/10)『28年目の福祉文化実践活動の方向性』
  - 第147号(08/10)『若者発 ご近所福祉かるた活用報告』
  - 第148号(12/10)『第22回セミナーを振り返る～住民福祉教育のプロセス～』
  - 第149号(03/10)『ご近所福祉検証 2023年度を総括する』

### (2) 日本福祉文化学会 HP と本会ブログのリンクによる「地方発 福祉文化の創造」の発信

### (3) 「焼津福祉文化共創研究会」ブログとのリンクによる「福祉文化の創造」の発信

### (4) マスコミ、関係機関・団体への情報提供

## 6. 「ご近所福祉かるた」の有効活用の現場実践検証と活用実践事例集作成検討

「若者発 ご近所福祉かるた」誕生(2015年度)から9年目を迎えて、県内の「ご近所のささえあい活動」(主に「かるた」配布先の活動)の実践地区への現地訪を通じて「地域総合型学習」として、幼児から大人まで、身近な地域における実践活動の場や行事の中で楽しみながら活用し、安心して暮し合う生活圏域づくりをめざす取り組みを検証する。

関係機関・団体との「協働」により、これまでに個人、地域実践者、施設・グループ・サロン等に配布・設置した「かるた」の活用状況を把握し、教育と福祉の融合を視点に「活用事例集」(仮称)の編集を検討する。

## 7. コミュニティ組織との連携

コミュニティ組織との連携に努め、「かるた」の配布地域の開拓とともに「ご近所福祉」について、広く地域住民の意見を把握することに努める。

## 8. 関係機関・団体との協働・連携

- (1) 「静岡県共同募金会」への情報提供(2021年度助成事業その後の取り組み経過報告)
- (2) 「焼津福祉文化共創研究会」との連携(協働による諸活動の展開と、小地域福祉活動の連携による「近助」の取り組みの現場に学ぶ実践活動を県域に共有)
- (3) 「静岡県コミュニティづくり推進協議会」との連携(「かるた」配布団体・グループ推薦と事業関連情報提供)
- (4) 「日本福祉文化学会」及び「学会中部東海ブロック」への情報提供
- (5) 「教育と福祉の融合」をもとに、「学校教育」や「社会教育」分野への情報提供を開拓
- (6) 「静岡県ボランティア連絡協議会」との連絡調整及び情報提供
- (7) 「ふじのくに未来財団」への情報提供
- (8) 県内外の関連研究会等と「近助」に関する情報提供
- (9) 福祉コミュニティ組織における実践的取り組みをしている地域の把握との情報交換
- (10) 「若者発 ご近所福祉かるた」配布団体・グループ等との日常的連携(施設、NPO法人、Vグループ)
- (11) 「静岡県社会福祉協議会及び市町社協」との連携(情報提供)
- (12) 公益財団法人「あしたの日本を創る協会」への情報提供
- (13) 公益財団法人「さわやか福祉財団」への情報提供
- (14) 公益財団法人「愛恵福祉支援財団」への情報提供